



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名:シオヤトンボ

学名: *Orthetrum japonicum*

春早くから見られるトンボです。メスや未成熟のオスは上の写真のように黄色に黒い帯模様がありますが、オスは成熟するにしたがって青白い粉をふきます。シオカラトンボによく似ていますが、シオヤトンボのほうがやや小型で、体つきがやや太めです。

広島県に分布する*Orthetrum*属のトンボには、シオヤトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ミヤジマトンボの4種がいます。オオシオカラトンボは色彩で簡単に区別できますが、他の3種はよく似ています。また、属は異なりますが、コフキトンボも色彩が似ていて、間違われることもあります。

水田や水路、湿地、池などの水辺で普通に見られます。しかし、放棄水田の増加などで、減少している地域もあります。日本特産種で、北海道から種子島まで分布しています。

【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

